

よみがえった正直古墳の主

復顔でよみがえった人物は、北棺東室に埋葬されていた方です。昭和45年当時の調査記録によれば、「頭を東にして、伸展位の遺体1個が中央位置に仰向けで納められ、顔は北を向けてあり」という出土状況が記載されています。調査から42年の時を隔て、人類学の研究成果と最新の計測技術、それに熟練の業により、主の顔が復元されました。



化学薬品による保存処理

出土資料が長期保存に耐えられるようする。



検討資料の探索

出土資料には下顎がなかったので、国立科学博物館所蔵資料を元に検討する。



モデル作製装置



デジタルデータによる頭蓋骨モデル

データを立体に出力する。



頭蓋骨のデジタル計測

最新の装置で立体的に計測する。



頭蓋骨のデジタル画像



制作途中の復顔原形

さまざまな筋肉の付きかたを
検討しながら、粘土で造形する。



今回の復顔を監修された馬場悠男さん※は、「全体的にいわゆる『弥生人』の顔をしている。古墳時代の人には出っ歯が多いが、正直の人物は当でも歯が出ていた方だ」と感想をおっしゃっていました。復顔をこらんになって、みなさんはどんな感想をお持ちになりましたか。ちなみに、弥生時代と古墳時代では顔に大きな変化は見られないそうです。おうちの人といろいろ話してみましょう。

※馬場悠男【ばばひさお】(元国立科学博物館人類研究部長・元日本人類学会会長) ジャワ原人をはじめ、人類の二足歩行・ヒトと脊椎動物の頭・日本人のルーツに関する研究などで有名。また、最新の研究成果を分かりやすく紹介する先生として雑誌やテレビでも活躍。現国立科学博物館名誉研究員。

協力機関：福島県立博物館・福島県文化財センター白河館・郡山市歴史資料館

国指定史跡
大安場史跡公園

編集・発行 公益財団法人郡山市文化・学び振興公社 大安場史跡公園
TEL024-965-1088 FAX024-965-1090
〒963-1161 福島県郡山市田村町大善字大安場160番地
主催 郡山市教育委員会・公益財団法人郡山市文化・学び振興公社



紙ヘリサイクル可

この印刷物は、印刷用の紙リサイクルできます。



ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C011278



初公開!

正直27号墳の人骨から復顔モデルを作成しました。



大安場史跡公園で、正直の古墳の展示が始まったそうなの。おじいちゃんも、むかしその古墳の発掘をしていたんじゃよ。どれ、一緒に展示を見に行くとするか。

ねえねえ、おじいちゃん。古墳の主ってどんな人? 古墳からはどんなものが見つかったの?

よみがえった正直古墳の主

大安場史跡公園 平成二十四年度企画展

【会場】
大安場史跡公園
ガイダンス施設

入館無料

【期間】
平成24年
10/18 木 ~ 12/9 日

9:00~17:00(入館は16:30まで) 【休館日】月曜日





正直古墳群は大安場史跡公園や日本大学工学部の南にあるが、北端に初代の35号墳、南端に二代の21号墳、その真ん中に三～四代と家族が眠る27号墳があったんじゃよ。

古墳の南側にある単独の棺が1550年前に正直を治めていた三代のお墓、北側から見つかった石棺の東の部屋の遺骨が四代、西の部屋の二人の遺骨は三代と四代の奥さんの可能性が高いようじゃ。

※系図について…展示内容が分かるように、古墳の形や大きさから推定したもの

正直の系の系図※



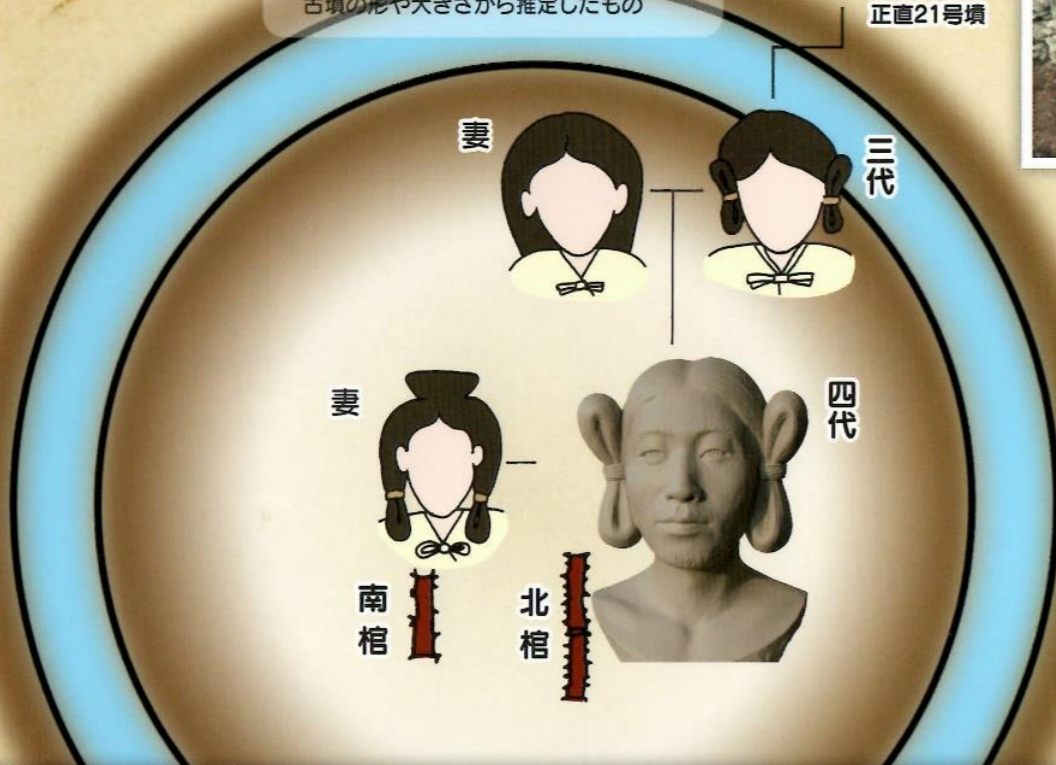
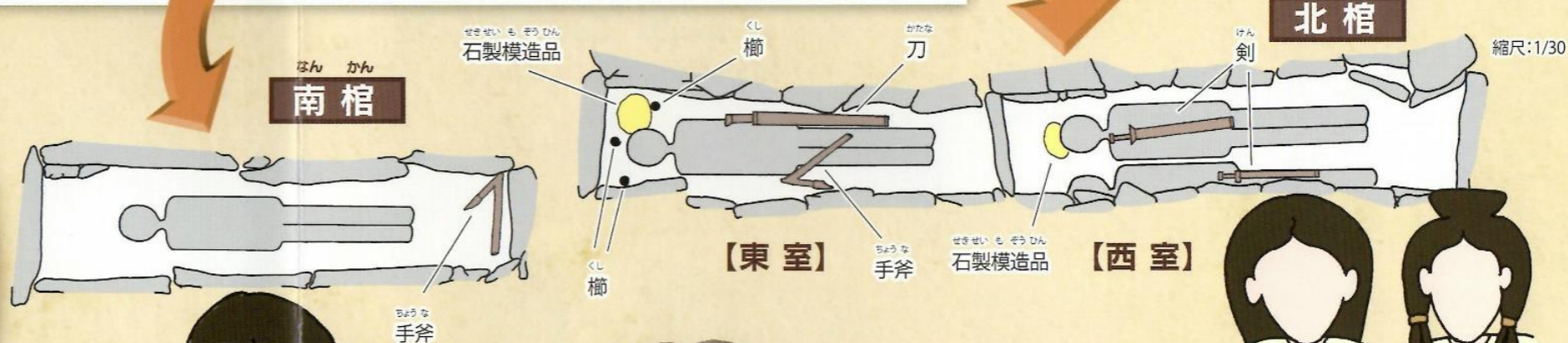
しょうじき ぬし ほうむ せうぶん
正直の主が葬られていた27号墳



正直の主は石の棺に納められていたんだね



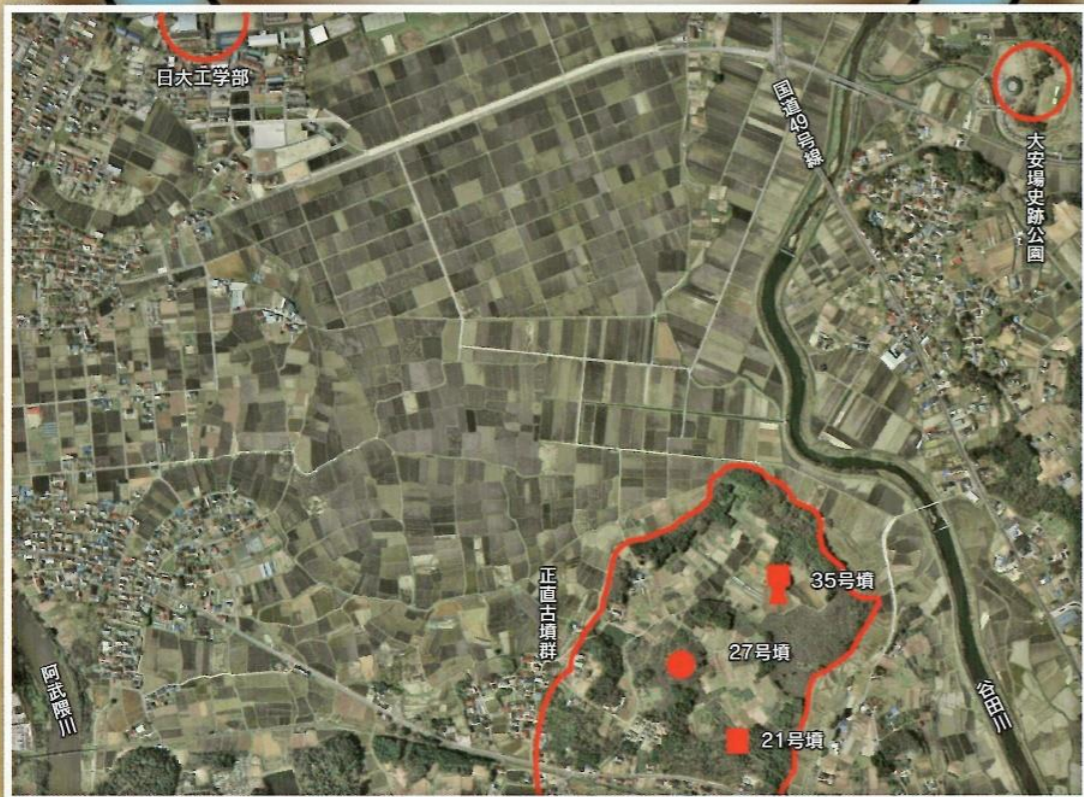
石の蓋をはすと壁が赤く塗られた石棺が姿をあらわした。



南棺
人骨は残っていなかったが、石棺内の副葬品から正直をリードした家族のお墓と推定される。
副葬品: 鉄製の刀子(小刀)・矢・手斧
お祭りに使った石製の手斧・刀子(小刀)などの模造品

北棺【東室】
壮年男性(30歳前後)が埋葬されていた。
副葬品: 鉄製の刀・手斧、漆塗りの櫛、ガラス玉、お祭りに使った石製の模造品

北棺【西室】
○壁ぎわの人物
先に埋葬された熟年女性
身長157cm
○中央の人物
後に埋葬された壮年女性
身長158cm
副葬品: 鉄製の剣
お祭りに使った石製の模造品



●南棺出土遺物

鉄製品 (矢に付けられた鏃と手斧)
石製模造品 (刀子形)

●北棺東室出土遺物

鉄製品(大刀)
鉄製品(手斧)
石製模造品(有孔円板)
(白玉) (剣形)

●北棺西室出土遺物

鉄製品(剣)
鉄製品(刀子)
石製模造品(有孔円板・剣形) (白玉)